

第5章 アサバスカ大学保健衛生学修士 (Master of Health Studies) プログラム

佐藤 智美 (聖徳大学)

アサバスカ大学はアルバータ州の州都エドモントンから北に147キロ、ちょうどアルバータ州の中央あたりに位置するアサバスカ地域の中にある。この地域は面積15,000km²、人口10,000人ほどで、閑静で豊かな自然に恵まれている。アサバスカ大学はその中心のアサバスカ町にあり、図書館、デイケアなどの施設をはじめ、映画、セミナーなどのイベントやその他の文化的活動の拠点として、地域振興に大いに貢献している。大学の建築物は12,000m²を有するが、その中に講義室は一つもなく、学生の姿をキャンパスで見かけることはまずない。訪れる人はその静けさに驚き、通常の大学のイメージを払拭させられる。学生がこのキャンパスを訪れるとすれば、それは6月に行われる卒業式で、この時期には卒業式出席のため500人ほどがアサバスカ大学における学生生活最初で最後のキャンパス訪問をする。キャンパス内に講義室はないが、学習センターは利便性を考慮してアルバータ州内のカルガリー、エドモントン、フォート・マックマレイに設けられている。この通信制大学に経営学 (Master of Business Administration) と遠隔教育 (Master of Distance Education) の修士プログラムに加え、3番目の修士プログラムが始められることになった。

1999年9月、保健衛生学修士 (Master of Health Studies, 以下MHSとする) 課程が開講される。アサバスカ大学ではDepartmentやFacultyではなく、各専門領域はCentreに置かれており、MHSはCentre for Nursing and Health Studiesの修士プログラムである。このCentreにはMHSの他に、学部レベルのBachelor of Nursingと学士以後のAdvanced Graduate Diploma in Community Nursing Practice (AGD:CNP) がある。AGD:CNPは学士取得後のプログラムであるが、修士号を取得できるものではない。1999年の秋学期からCentre for Nursing and Health Studiesには学士後のプログラムとしてMHSとAGD:CNPの2つのプログラムが並行することになるが、修士号を取得するためにはMHSプログラムの方に入学しなければならない。アサバスカ大学がこのMHSプログラムを設立した背景には、保健、衛生、看護の領域でより高度な知識、技術を持つ人材に対して社会的需要が高まりつつあることと、この領域で就労する人々の学習ニーズが高揚していることがある。

1. 設立の背景と目的

従来カナダには、14の看護学修士課程があったが、遠隔教育によって修士が取得できる機関はなかった。アサバスカ大学のMHSは、看護学のみならず関連領域の専門職についている人々を対象にして、遠隔教育によって修士号取得の道を開こうとするものである。同じアルバータ州だけでも、アルバータ大学 (University of Alberta) とカルガリー大学 (University of Calgary) には看護学修士課程があるが、どちらも通学制であり、かつ臨床看護のスペシャリスト養成を目的としている。アサバスカ大学のMHSプログラムはそれらとは異なり、居住地を問わず、既存の修士課程とは異なった学生を視野に入れて構想された。

その構想に至るまでに、現実にはアサバスカ大学には学士号を持つ多くの看護婦（士）から修士課程に関する問い合わせが相次いでいた。現在カナダには約264,000人の看護婦がおり、そのうち約47,000人が学士号を持っている。アサバスカ大学のCentre for Nursing and Health Studiesには毎年200～300件ほどの問い合わせがあったという。1995年8月に大学が看護学専攻の学生を対象にして実施した調査によれば、44%の学生が遠隔教育による修士課程に関心があると回答している。さらに、セラピスト、栄養士、薬剤士、物理療法士の各団体登録者に直接連絡をとったところ、保健衛生学関連の学際的な修士課程に強い関心を持つ者が多く、特にセラピストと栄養士の中に関心を示す者が多いことが明らかとなった。

また、必ずしも経済学的な分析とはいえないが、近年の求人広告を検討しても、MHSプログラムが提供するような技術や知識を持つ人材が様々なところで必要とされつつあることもMHS構想の背景にある。このような現実のニーズに応えるべく、アサバスカ大学では、その遠隔教育が持つ働きながら個人のペースでどこでも学習できるという利点を生かして、MHSを設置するに至った。カナダでは看護職に就く者の約95%は女性であり、男性の看護師はまだまだ少ないが、近年魅力的な職業の選択肢の一つとなってきたという。したがって、アサバスカ大学のMHSプログラムはいうまでもなく共学である。

このプログラムでは、主として保健衛生の領域でリーダーシップをとり、将来の保健衛生を見極める能力を持つ人間、保健衛生についての計画、評価ができる人間、保健社会政策を客観的に分析する能力をもつ人間を養成することを目指している。たとえば、先年の求人広告から、Wellness Coordinator, Administrative Program Directors, Director of Care, Auxiliary Hospital, Child Health Services Managerなどの専門職がプログラムの内容と適合していると考えられている。

2. MHSプログラムの内容…カリキュラムストリーム

MHSプログラムにはリーダーシップストリーム（Leadership）と上級看護ストリーム（Advanced Nursing Practice,以下ANPとする）の2つのストリームがある。どちらも、卒業論文、スクーリングはなく、コンピュータを媒介として学習をすすめる。2年間で修了することが可能とされている。

① リーダーシップ（Leadership）

このストリームは保健衛生システムにおいてリーダーシップをとれる人間の養成を目指している。様々な保健衛生分野出身の専門職の人々を対象に、現状の傾向を見極め、将来のヘルスケアを予測する力、ヘルスサービスを立案、計画、実施、評価するにあってリーダーシップをとる力、変化にうまく対応する能力、政策を検討し展開できる力を養うことを目的としている。

② 上級看護ストリーム（ANP）

このストリームは、あらゆる年齢層の患者にヘルスサービスを提供する上で、より広範な役割を担うことのできる看護職の専門家を養成することを目指している。理論的、臨床的な学習をすることによって、より高度な地域看護にかかわることのできる看護職を目指している。

3. 入学要件とプログラム概要

1) 入学要件

MHSプログラムへの入学志願者は認可大学の保健衛生関連領域の学士号所持者でなければならぬ。志願者はどちらのストリームに志願する場合でも以下のような書類を提出することになっている。

- ① 入学願書と手数料（\$50）
- ② 推薦書3通、うち1通は志願者の学問的な力量や能力について熟知している者からの推薦状であること。
- ③ 履歴書
- ④ 大学の成績

さらに、ANPストリームへの志願者は以下のような要件をも満たしていなければならない。

- ① 看護学で学位を取得している者。また州に公認された看護婦（士）で学士号向けの科目を最低54単位取得していて、ヘルスアセスメントと地域看護のコースを修了している者も志願することができる。
- ② 2年以上の現場での看護経験
- ③ 公認看護婦（士）の証明書
- ④ 基礎心肺蘇生術（Basic Cardiac Life Support, BCLS）の証明書

2) 履修について

MHSプログラムは秋学期と冬学期の2学期制であるが、春学期や夏学期がおかれることもある。秋学期、冬学期はそれぞれ15週間ずつである。MHSプログラムに在籍するためには、各年度（9月1日から8月31日まで）ごとに6単位分のコースを修了しなければならない（1コースは3単位）。学生はプログラム・コーディネイターの許可なくして1学期を超えて学業を中断してはならない。さらに、学生は卒業要件として、すべてのコア・コースの成績が70%（B-）以上でなければならない。

MHSプログラムに入学していない者も空きがあれば、先着順でMHSプログラムのコースに履修登録することができる。この場合に習得したコースは学生がMHSプログラムの正規の学生になることを望んだ場合、MHSプログラムの学位取得要件に照らし合わせて考慮されるが、アサバスカ大学ではコース履修登録の学生をMHSプログラムへ入学許可しなければならないという規定はない。

さらに、このプログラムでは、学生は最低限で以下のようなコンピュータ要件を満たさなければならない。

- ① ペンティアム相当のパソコン
- ② カラーモニター
- ③ CD-ROM
- ④ メモリー容量16MB（最低限）
- ⑤ ハードディスク空き容量1MB

- ⑥ フロッピードライブ
- ⑦ マウス
- ⑧ 28.8 Kbpsモデム
- ⑨ Windows95
- ⑩ プリンター

その他、望ましいワープロ機能としてMicrosoft Wordのソフトウェアを準備することと、長距離電話の費用とインターネットを使用できる環境を自己負担で整える必要がある。

3) 授業料等

授業料は以下のように区別されており、たとえば、日本に住む日本人が出願して、入学を許可されると、1コース当たり1,100ドルを支払うことになる。

- ① 出願時の手数料 \$ 50
- ② 入学金 \$ 100
- ③ 授業料 (1コース当たりの金額で、必要な教材をすべて含む)

カナダに居住するカナダ人と移民の場合	\$ 850
国外に居住するカナダ人の場合	\$ 950
国外に居住するカナダ人以外の場合	\$ 1,100
アルバータ州に居住するビザ所持者の場合	\$ 1,400

4) 教育プログラム

MHSでは、リーダーシップストリームとANPストリームともに以下のようなコア・コースを履修しなければならない。

- MHST 601 Philosophical Foundation of Health Systems
- MHST 603 Facilitating Inquiry
- MHST 611 Applied Project

さらに、それぞれのストリームを修了するためには以下のようなコースの履修が必要である。

・リーダーシップストリーム

- MHST 602 Managing Information in Health Systems: Informatics
- MHST 604 Roles of Leaders in Health
- MHST 605 Demystifying Policy Analysis and Development
- MHST 606 Health Systems and Service Planning, Management and Evaluation
- MHST 607 Developing Successful Project and Program Proposals
- MHST 610 Applied Project

・ANP ストリーム

- NURS 520 Foundations of Advanced Community Nursing Practice
- NURS 522 Advanced Nursing Practice: Women's Health/Pregnancy/Newborn
- NURS 524 Advanced Nursing Practice: Infants to School Age
- NURS 526 Advanced Nursing Practice: Adolescents and Adults
- NURS 528 Advanced Nursing Practice: Older Adults

NURS 530 Applied Projects: Comprehensive Nursing Practice

1999年秋学期には、ANPストリームにはNURS 520とNURS 524が開講され、リーダーシップストリームにはMHST 601とMHST 602が開講される予定である。次いで、2000年1月から始まる冬学期には、ANPストリームではNURS 522とNURS 526、リーダーシップストリームではMHST 603とMHST 604のコースがそれぞれ開講される予定である。これらの必修のコースは規定されている順序で履修するのが望ましいが、プログラム・コーディネーターとの相談によって例外が認められることもある。

以上のコースの他に、どちらのストリームの学生も2コースを選択して履修しなければならない。これらの選択コースはアサバスカ大学の大学院プログラムの中から選ぶか、客員教授のゼミナールをとるか、あるいは他大学の大学院のコースで認可されているものの中から選ぶことになっている。

5) 成績評価

プロジェクトは合格、不合格で評価されるが、コースワークはすべて以下のような基準にしたがって評価される。

A ⁺	90~100%	
A	85~89%	
A ⁻	80~84%	
B ⁺	77~79%	
B	74~76%	
B ⁻	70~73%	
C ⁺	67~69%	
C	64~66%	
C ⁻	60~63%	
F	0~59%	Fail
I N	Incomplete status	
W	Withdrawn in good standing	

I Nという成績には、例外的な場合にのみ、かつコース担当者が同意した場合に与えられる評価である。この場合、学生はコースワークを終え、提出するまでにさらに2か月与えられ、当初のコース修了期限から2か月後に成績がつけられる。しかし、学生がそれでもコースワークを終え、提出しない場合には不合格(F)となる。

また、学生は学期の1か月前までに登録取り消し願 (Withdrawal Request Form) を提出してコースの登録を取り消すことができる。学生はコースが始まって1か月以内に登録を取り消せば、記録に残ることはないが、コースが始まって1か月後から最終月の間に取り消し願が出された場合には成績表にはWが記載されることになる。

Cもしくはそれ以下の成績、あるいはWの場合には、そのコースを再登録して履修することができる。ただし、学生はその際授業料を支払い、コースを必ず修了しなければならない。成績表には、初めに登録した時と再登録時の両方の成績が記載される。

MHSプログラムでは、初めの入学から6年以内に学習を修了しなければならない。プロ

グラム・コーディネーターに1年の延長が例外的に考慮されることもあるが、その場合には手数料を支払わなければならない。

最後に、MHSプログラムにいったん登録したものの、このプログラム自体から在籍を取り消す場合には、プログラム・コーディネーターへ書面をもって願いを届け出る。後に再び入学を志願するときには、前述の入学手続きに従う。再入学であっても他の志願者と同様に扱われ、何ら特別な考慮はなされない。

4. MHSの教員、学生

この領域でPh.D.を持っている者は決して多くない。質の高い教員をそろえていくことが今後も課題である。現在、このプログラムのために、アサバスカ大学以外にも、マニトバ大学 (University of Manitoba) とカルガリー大学 (University of Calgary) にも教員がいる。

このプログラムはヘルスケアの分野で現役で働いている者を対象にしているため、学生はパートタイムである。1999年度には、パートタイムの学生25人の入学を予測しており、2000年度の終わりには3人の卒業者が出るものと期待している。

5. 学習方法、サポートシステム

MHSプログラムではスクーリングはまったくなく、学習は自宅で自分のペースで進める。教材はCD-ROMなどを利用するので、コンピュータは必要条件である。学生はWEB CTによるグループワークで学ぶ。また、個別の連絡、相談も重要と考えられており、まず、教員が学生に電話をすることから始まるチュータリングが必要に応じて行われる。自宅で学習する学生を励ましたり、元気づけたりすることは学業を継続するためにも、修了するためにも重要と捉えられている。

6. 今後の課題

Centre for Nursing and Health Studiesによれば、この分野におけるPh.D.所持者は少なく、MHSプログラムの充実度をいっそう高めるためには、より良い教員を集めることにある。既存の看護学修士課程よりも複眼的な視野でプログラム展開をするためには、教員の質が問われるだけでなく、その専門性もより広範な領域から選ばなければならないだろう。

たとえば、MHSプログラムのような保健、さらには医療と直結する領域は、相互に密接に関連しながら発展してきた福祉の分野もプログラムに内包できるのではないだろうか。特に、ANPストリームのように、あらゆる年齢層の患者を想定し、より高度な地域看護を可能にすることを目的とする場合、地域の中で生活する人間を総合的な視点から捉える必要がある。異なる年齢層の住民が持つそれぞれのニーズと保健、医療、福祉間に生じるギャップを最小限にするためにも相互の連絡は重要である。その意味においても、地域に根差した看護の射程内に福祉あるいは地域福祉を入れることは高度な地域看護を実現するための一つの可能性と考えられる。カナダでは、州ごとに社会福祉の施策が異なり、さらに州下の地方自治体によって福祉サービスの形態が微妙に異なっていることを考慮するならば、この分野における学習をある特定の施策やサービスに焦点化することは必ずしも効果的とはいえない。しかしながら、住民が

地域社会から必要なサービスを受けながら、地域で自立した生活の実現をはかるというノーマライゼーションの理念が定着しているカナダにおいてこそ、保健、医療、福祉が連携した支援システムの中で、住民の個別性を重視した看護や援助が提供できる人材が要請されると考えられる。